

## 第三者評価結果

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
【A1】	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アセスメントは年3回行われますが、「ご本人、家族の意向」という項目が、個別支援計画では、「ご本人の要望・ご家族の要望」という項目になり、利用者の自己決定や意向が尊重されています。利用者から「利用者本人の気持ちを大切に対応していると思う」という評価を得ています。利用者の確認を取りながら選択をしてもらう取り組みについても、簡単な文字や写真を使ったり、選択できる理解の工夫を行っています。落ち着けるスペースの設定、食事をとる場所、マスクの着用にも配慮したり、利用者の生活については、利用者に合わせて様々な合理的配慮がなされていますが、障害が重く、利用者とは話し合うことは困難であるようです。職員の行動指針として、人権への配慮が明示されていますが、実際の支援の様子からも、丁寧な対応を見て取ることができます。</p>		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
【A2】	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の倫理規定では、職員の行動規範が明示されています。また、権利侵害ガイドライン等があり、きめ細やかに具体的な権利侵害についての規制が定められ、防止策が講じられています。人権委員会も設置されていて、権利に関する研修にも出席しています。具体的にどのような事が虐待に当たるかなどの基本的な説明をスタッフ会議等で伝えたり、支援を振り返りながら、言葉遣いや私物管理などの事例について、適時指導を行っています。</p> <p>権利擁護の観点から成年後見制度の研修や認知症の研修も行われ、神奈川県中央地区オンブズパーソンネットワークの方が月一度来舎し、利用者の権利擁護のための相談を受ける取り組みも行われています。利用者の身に危険が及ぶなど、やむを得ない場合のみ、身体拘束をする場合もありますが、身体拘束の可能性があれば、個別支援計画に明記し、家族にもお知らせしています。</p>		

### A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
【A3】	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>重度の障害の方が多く、強度行動障害の方の支援を行っています。ADLや日常生活の自立を目指した支援が中心となっていて、自律自立生活を目指すことや、生活の自己管理を行うことは困難なケースが多いようです。よって、生活を豊かにするための自立を目指して、細かな小さい部分でも支援できるように、利用者さんの希望される生活を大切にする支援に努めているとのことです。具体的には物を運ぶ、階段を使うなどのADLが中心となっています。生活での支援は、個別の課題としての作業を行うことが中心です。利用者も「おしごと」として捉えています。一日の生活のリズムや能力の向上を目指して行われています。DVDを見るなど、作業以外の「余暇時間」にも取り組んでいます。</p>		

【A4】	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>決められた活動でも、利用者さんの心身の体調に配慮して、変更を行うこともあるとのこと。建物の構造上、なかなか個別のスペースを確保することは困難な様子ですが、衝立を使ったり、相談室などの空きスペースを利用しています。コミュニケーションの手段として、TECCHのプログラムを基本とした実践がなされています。</p> <p>言語以外の手段では、写真や実物を見せるなどの視覚の優位性に立った伝達の方法を利用し、コミュニケーションをとっているそうです。個別支援計画でも、「短い言葉やひらがなと写真を合わせたカードを使用する」という意思疎通の方法が選択されていたり、アセスメントをもとに、本人のサインをキャッチして、対応することが取り上げられています。発達障害の利用者はコミュニケーションが苦手な方が多いので、コミュニケーション支援は重要な支援として捉えているという姿勢は、支援計画からも、支援者の対応からも伺うことができます。</p>		
【A5】	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>意思表示が苦手な利用者が多いので改まった場での相談という方法では、意志を汲み取ることが困難な状況は見受けられます。作業室では、その日の活動の写真を自分で選んで貼ることを行っていますが、機会あるごとに、「選択」をしてもらうようにしています。</p> <p>舎内では、支援者が言語での訴えができない利用者とのコミュニケーションから、利用者の意図を読み取り、対応する様子が見えがえしました。日々の支援により、信頼関係が育まれていることが垣間見られました。個別支援計画では些細な動作や目線から利用者の意志を読み取ることも支援の内容として記されていて、利用者の意思を尊重する対応が見られました。写真の他、「ミニホワイトボード」を利用しています。施設としては、支援の工夫があると認識されているようなので、今後、意思決定の支援が行われることを期待します。</p>		
【A6】	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画には、障害特性を考慮した個別支援を行うことが明記されています。内容としては、音楽療法・音楽プログラムが月1回、農園芸プログラムを水曜日、調理活動、喫茶外出、買い物活動を定期的に行います。パンフレットにも、活動内容についての記載があり、生活の中心であることが伺えますし、魅力的な活動が用意されていることがわかり、利用者の安心にもつながります。</p> <p>特徴的なのは、屋上に大きなプールがあり、利用者が水泳を楽しめることです。また、室内運動にはエアロバイクが導入されたり、法人の部署が中心となって、トランスフィットネスという運動を行っています。活動は写真などを利用して、利用者が自己選択できるように配慮されています。利用者の意向にもとづいた提供が行われています。</p>		
【A7】	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人研修、OJT、外部研修と多岐にわたり、多くの研修に参加し、専門知識の習得や支援の向上を図っています。また、自閉症などの障害特性を理解するために、専門的な研修に参加し、支援につなげています。月1回のグループ会議＝支援会議では、支援方法の検討が行われ、グループ間共有会議でも全体の共有が行われています。</p> <p>日誌にはヒヤリハットを含め、利用者の行動についての記述があり、その都度職員間で共有されています。また、行動に課題のある利用者に対しては、行動手順書に沿って日々の生活を確認しながら、支援の振り返りをしているとのことでした。障害特性や利用者同士の関係性に配慮したグループ編成が行われていますが、定期的に検討して、変更をしています。</p>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		

【A8】	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画では、生活(ADL)の欄で、具体的に、食事や清潔、排泄、運動などの支援の内容・方法・進め方が立案されています。食事は業者委託で調理され、栄養士により、基礎疾患や慢性疾患への対応など栄養管理も行われています。便秘気味の利用者が多く、食事の内容もそうしたことへの配慮がうかがえる献立になっています。食堂は広く、調理室も見渡せる環境にあります。居室で食事をする利用者も多いそうです。</p> <p>入浴支援は行われていません。排泄支援については、個別に、定時誘導や見守りなど個々の状況に対応していて、同性での援助が行われているようです。車いすを使用している利用者などは必要に応じて、エレベーターを利用して移動しています。通所は完全ドアtoドアで自動車での送迎になっていますが、乗車の順番等にも配慮しているようです。ステップや乗りやすい席の検討など、安全な移乗についての課題意識も持たれています。</p>		
A-2-(3) 生活環境		
【A9】	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の施設の中でも古い施設ということですが、間取りや使い勝手の問題を工夫して使用しています。全体的に天井も高く広い部屋が多いので、コーナーごとにスペースや居場所を設定していました。舎内は清掃が行き届き、臭気もなく、清潔な印象を受けました。作業用のツールは箱に入れられて整理してありました。</p> <p>個別のスペースが必要な利用者が多いので、パーテーションや衝立を使用して間仕切りをしています。パニックを起こした時、クールダウンをするためのスペースとしては、相談室などを使用しているとのことでした。安全に配慮した環境設定を行っていて、個別に利用者の安全を考えた椅子等を用意しています。感染症対策が取られ、喚起・消毒・手洗い等が行われて、口腔ケアも実施されていますが、利用者によっては、支援者のマスク着用を受け入れられないことから、フロアごとに支援者がマスクを着用しない配慮も行っています。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
【A10】	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>障害者支援においては法人の核として、長い間支援をしている施設で、様々な障害の方、年齢の方が通所されています。重度の方も多く、強度行動障害の方も複数名いらっしゃいますが、研修を受けた職員が対応をしています。機能訓練・生活訓練を利用者が主体的に行えるような工夫を課題としています。行動障害のある利用者に対しては、行動手順書が作成され、それに沿って支援を実施していますが、日々生活を確認し、振り返りの検討を行っています。</p> <p>日中活動や作業は障害特性ごとにグループが編成されて行われています。内容については、利用者さん同士の関係性にも配慮して、定期的に見直しの変更をしています。法人としての研修や施設でのOJT、外部研修も活発に行われていて、専門機関の医師によるスーパーバイズ、eネットによるオンブズマン制度の利用などを利用して、助言を得ています。個別支援計画では「作業活動」「生活(ADL)」の項目がありますが、4ヶ月ごとに見直されて支援につながられています。</p>		

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
【A11】	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の拠点的な地域でもあり、同法人の医療機関がすぐ近くにあり、利用者が入居しているのも同法人のグループホームです。様々な法人内の機能が利用でき、連携が取れることは大変な強みであり、職員の皆さんも心強いであろうと感じました。定期的にドクターが巡回し、連携した対応が行われています。また、健康状態に関する情報は、連絡帳を利用して、常にご家族やグループホーム職員と共有しています。</p> <p>週1回の非常勤勤務で看護師も勤務しています。体重測定は月1回実施しています。必要に応じて、通院に同行するなど、医療的な連携と対応も行われています。養護学校を卒業した利用者さんなどは、運動量が減るので、エアロバイクを用意して活動に導入し、運動の機会を増やしたり、便秘の方が多いため、食事の内容に反映させたり、健康維持・増進のための工夫も行われていました。しかしながら、健康管理に関するマニュアルがなく、健康管理に関しては、日常の支援の中で行われています。</p>		
【A12】	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>医療的な支援についての方針や実施手順は策定していませんが、必要な医療支援については、個別支援計画の中に記載されています。服薬の管理などが行われていて、扱いの誤りがあった時もヒヤリハットとして記録されていました。医療的なケアはドクターと家族の指示により、行われています。健康診断を年1回行い、再検査のお知らせ等を伝えて、健康状態の改善に取り組んでいます。</p> <p>重要事項説明書には「健康管理に関わる支援サービス」として健康上の問題について本人や家族の要望に応えたサービスが提供されています。また、「食事サービス」としても、「糖尿病・慢性腎炎・食塩制限食・きざみ食・ミキサー食等」を提供することを明示しています。アレルギー対策も行われていて、食事の材料や調理方法も個別に対応しているとのことでした。食堂から配膳される際、トレーには個別の氏名札が添えられ、様々な形態の食事が提供されていることを確認しました。</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
【A13】	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>重度の障害を持つ利用者が多く、「学習」という面では、支援を行うことが少ない状況です。現状の力を発揮して、コミュニケーションなどの課題に取り組んでいる様子が伺えました。余暇活動としてはありますが、音楽活動、絵画教室が実施されていて、広い意味では学習ととらえることもできます。</p> <p>一方、社会参加については、利用者の希望するお店や外食等を利用したり、地域サロンに参加したり、地域の公園や運動施設を活用するなど、様々な支援が行われています。家族ではなかなか一緒に外出することが困難な場合が多く、散歩に行ってほしいという要望は多いとのことでした。個別支援計画には、「地域生活」という項目があり、社会参加についての希望や意向が反映されています。年一回利用者の希望を取り、外出プログラムを設定し、実施しています。遊園地などの施設や水族館などに出かけています。</p>		

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
【A14】	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設の建物内に、法人の別事業所である「サポートセンター花音」があり、大和市障害者相談支援事業として、障害のある方の地域生活をサポートしています。別施設ではありませんが、舎内にある同法人施設であることから、十分に地域生活への支援についての情報を共有したり、連携できる環境にあります。当該施設以外にも、様々なサービスを利用して、地域で住みやすくなる支援を目指し、移動支援や短期入所に対するフォローや情報共有が行われています。「サービス担当者会議」にも、参加し、関わる支援先との連携を深めています。</p> <p>活動の中でも地域の養護老人ホームでのボランティアや作業の納品を行ったり、スーパーマーケットの黄色いレシート活動に参加したり、市役所での販売会などを行っています。利用者の意識を高めるために工夫した活動も必要と認識しています。個別支援計画においては、欲求や依頼の言葉を発することや他者に伝えることなどの課題が、そうした活動の中で取り組めるよう支援が行われていました。</p>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
【A15】	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎日連絡ノートで、家族とグループホーム職員で利用者の状況について情報を共有し、連携を取っています。また、必要に応じて、見学や相談の機会を持ちながら、一緒に支援をしています。家族会が結成されていて、役員が中心となって家族同士の交流の機会を持つなど、活発に活動をしています。歴史の長い施設なので、そうした基盤があるものの、近年では保護者の高齢化が進んでいるそうです。</p> <p>家族の会が月1回開催され、理事長や施設長も出席し、ご要望やご意見を聞く機会となっています。情報の共有や施設の状況報告、相談なども行われます。高齢の家族も多いため、必要に応じて、家族支援も行われています。家族が亡くなったという状況に対する支援の経過が記録されました。</p>		

### A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
【A16】	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>障害児以外の事業所のため非該当</p>		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
【A17】	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 就労支援以外の事業所のため評価外		
【A18】	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	
<コメント> 就労支援以外の事業所のため評価外		
【A19】	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント> 就労支援以外の事業所のため評価外		